

# Alexander The Great 創刊号



**作者と作品名を暗記するだけ!? 時間がある今こそ読んでおきたい文学の傑作!**

北中生の皆さん、休校中をいかがお過ごしでしょうか。なかなか学校に登校できる日が来ず、やきもきしていることでしょう。そこで、今年度は、社会科の学習を少しでもサポートできるように社会科通信を発行していこうと思います。

第1号は、この休校中に読んでほしい文学作品を紹介します。明治時代の作品ですが、現在を生きる皆さんにも共感できる部分が多いのではないかと思います。作者と作品名だけは知っているが、本の内容は全く知らないではもったいないです。五千円札に載っている樋口一葉さんの「たけくらべ」なんて、中学女子には切ない胸キュンのラブストーリーですよ。是非、皆さん、一読してみてください。

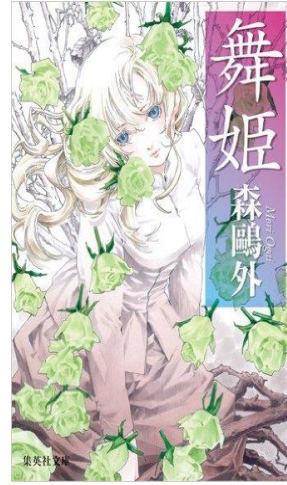
**必読! 胸が熱くなる! 読もう! 明治時代の名作を!**



『たけくらべ』  
作者：樋口 一葉

廓の街に住む勝気な美少女・美登利はお寺の息子・信如にほのかな想いを抱いている。しかしお互いを意識するにつれ会話はぎこちなくなり…。

「なぜ大人にならなければいけないの?」「なぜ子どもでいてはいけないの?」その切実さが胸を打つ。せつなく不器用な初恋を情緒あふれる文体で描いた名作。



『舞 姫』  
作者：森 鷗外

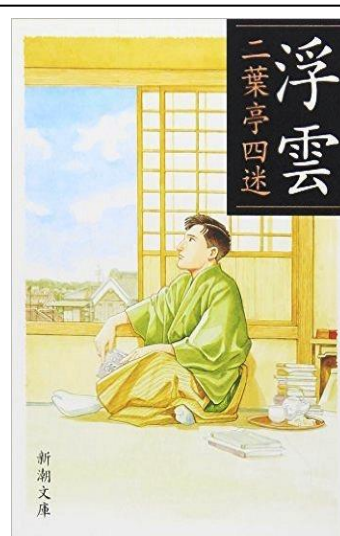
太田豊太郎はドイツに留学した際、踊り子であるエリスと出会い恋に落ちた。しかし事情により日本に帰らなければならなくなった。エリスと離れドイツを去ることはできない。しかしそれでは生活が不安定になる。そこで悩んだ豊太郎はどうしたのか…?せつなく不器用な初恋を情緒あふれる文体で描いた名作。



『こころ』  
作者：夏目 漱石

人間を信用せず、豊富な知識を持ちながら仕事にも就かず、美しい妻と隠居生活を送る「先生」には、人には言えない暗い過去があった。ある日、「先生」の不思議な魅力

に惹かれていた「私」のもとに突然、一通の遺書が届く。遺書が物語る「先生」の壮絶な過去とは? 友人「K」とは? 恋愛での三角関係の苦悩を世に知らしめた傑作。



『浮 雲』  
作者：二葉亭四迷

文三は、叔父の縁故で上京し、彼の家族と共に生活をするようになる。そしてその下宿先に住む従妹のお伊勢に恋をするのだが、己の内気さや、愚かなまでに正直にこだわる性格があだと

なって、会社はクビになり、好きな女には振り回され、暴言を吐かれた挙句、自分が忌み嫌っている男に彼女の心を奪われてしまう。初めての言文一致態で書かれた小説の名作。